

第19回発明大賞「考案功労賞」受賞する

技術研究所は(株)ダイア（犬山市字下榎高33、代表取締役、落合三郎氏）と共同で廃棄自転車用切断装置を開発した。

この自転車用切断装置の発明は、不用自転車の解体作業に使用する切断装置に関するもので、油圧で作動する移動刃と、切断部分に容易にセットできるよう考案された固定刃によって、鋼製パイプやゴムタイヤなどの材質形状の異なる部分が簡単に切断できる小型切断機である。特に固定刃の機能について新規性がある。



この発明によって、中堅・中小企業によって創出された優れた研究開発成果を広く社会に紹介することを目的とした「発明大賞（財団法人日本発明振興協会、日刊工業新聞社主催）」の「考案功労賞」を受賞した。

これを機にさらに、広く普及されることが期待される。

